

3学年通信

Practice Makes Perfect

担当：流郷

☆常日頃から就職試験・進学試験を意識しよう！

最上級生になり、3ヶ月が経過しました。各々が自分の進路のために行動していると思います。

3年生にとって、この1年は重要な1年となります。そのための準備や心構えはできているでしょうか。日々の行動の一つ一つが進路に直結してくることを自覚しなければなりません。そのために自らの行動を振り返ることも必要になってきます。皆さんは日々、何を考え、意識して行動していますか？考えることや意識することは人によって違います。今回は就職試験・進学試験で必ず実施される面接試験と日々の生活について考えたいと思います。

試験当日では、その場の行動や発言の全てが評価対象になります。相手に悪い印象を与えてしまうと合格には結びつきません。当日は自分の伝えたいことを先方に伝える必要がありますが、練習していたとしても緊張でできないこともあります。そうならないために少しでも緊張する要因は取り除いた方が自信をもって臨むことができます。その自信となる要因は何かを考えた時に1番身近なのは皆さんの日々の行動や発言です。

例として、朝の挨拶や出席確認時の返事、着座姿勢、身だしなみ、言葉遣い等が上げられます。何かを意識して行っていますか。面接時には当たり前に出なければ悪い印象を与えます。これらを毎日、面接時と同じ緊張感を持って行ってみましょう。毎日意識し、実行していくことで、試験当日に「いつもやっていることをやればいい。毎日行ってきたからできないわけがない。」と自分に言い聞かせることができます。その自信が合格に近づくための1歩となります。

取り組み方や意識の仕方は人それぞれですが、早めに行動するようにしましょう。試験が近づいてきて行動するのは遅いと思います。早めの準備も大切です。今からでも遅くはありません。今日から行動していきましょう。皆さんの行動が良い結果として表れることを期待しています。

最後に、意識するポイントをまとめておきます。確認してみましょう。

①身だしなみ・・・出会って2秒で決まる印象。高校生らしい清潔感のある格好で。

見ただけで人の印象は決定してしまいます。自分がカッコイイと思う格好ではなく、高校生らしい格好で臨みましょう。

②挨拶と返事・・・相手を見て、大きな声でハッキリと。

試験で訪れた学校や企業で多くの人とすれ違うと思います。その時にしっかり挨拶や返事を行いましょう。それだけで相手に良い印象を与えます。

③着座姿勢・・・背筋を伸ばして座りましょう。(足は組まない、伸ばさない。)

授業中や定期試験時、足を机から出している人や、足を組んで座っている人を多く見かけます。良い印象は与えません。気を付けましょう。

④言葉遣い・・・敬語や丁寧語、話し言葉を使い分けよう。

話をしている相手や場面に応じて言葉を遣い分けることが大切になってきます。

☆7月（文月）の行事予定・月訓『努力』

1	木	1学期期末試験④・求人票受付開始	17	土	求人票公開（閲覧室・会議室） 9：00～11：00
2	金	1学期期末試験⑤・部活動地域清掃活動	18	日	実用数学技能検定（公開会場） 第二種電気工事士技能試験（電気科）
3	土		19	月	
4	日	全商ビジネス文書実務検定（情報処理科） 日本語能力検定（愛産大会場）	20	火	3年就職選考願提出
5	月	短縮（40分×6・7限）・3年朝礼 身だしなみ指導	21	水	1学期終業式
6	火	過年度単位認定学習（15：00～17：00） 3年進学進研記述（午後）	22	木	海の日（祝日）
7	水	求人票閲覧開始 3年進学進研記述（終日）	23	金	スポーツの日（祝日） オリンピック開会式
8	木		24	土	
9	金	身だしなみ指導（再）	25	日	
10	土	求人票公開（閲覧室・会議室） 9：00～11：00・愛産大 OC	26	月	就職選考会議・受験対策講座⑥
11	日		27	火	受験対策講座⑦
12	月	過年度単位認定試験（15：00～）	28	水	受験対策講座⑧
13	火	3年就職選考願・履歴書配布	29	木	
14	水	保護者懇談会（15：00～）	30	金	3年就職希望者出校日・会社見学開始
15	木	保護者懇談会（15：00～）	31	土	愛産大 OC
16	金	短縮3限（50分×1～3限）			

☆コラム『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』

5月のこのコラムで東京五輪競泳日本代表の池江璃花子さんについて触れた。「努力は必ず報われるんだと思った」という言葉は重い。王貞治さんのことは「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならば、それはまだ努力と呼べない。」も併記した。

超一流アスリートの言葉に一瞬たじろぐ自分を感じるが、彼らの生き様から何かを学べないだろうか。

表題の言葉は、『天平の蠶』で知られる作家井上靖の言葉である。

何故人は努力するのか。「希望」があるからこそ、人は前をむいて努力ができるのだ。不満ばかり言いながら努力などできるわけがない。本気で努力していれば、自然と希望を口にする。怠けてばかりいれば、不満だけが口から出る。「自分は怠けている」と流布しているのだ。

「努力」と「希望」はワンセット。努力するから希望が湧く、希望が湧くから努力できる。現状の不満ばかりに目を向けて、努力を怠る事があってはいけない。人生を「希望」と「不満」のどちらに目を向けて過ごしたいのか。

「水は低きに流れ、人は易きに流れる」。その結果が、不満のリフレインになる人は少なくない。人間は意識的に『希望』に目を向ける『努力』も必要だ。

『希望』と『不満』、口にしてるのはどちらか。時々自問してみよう。希望を語る人になるための『努力』もわずれずに。

～～～Blue 3 Manager～～～